

2024年10月1日
84号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 渡辺明宏
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>
※バックナンバーは当院ホームページに掲載しております。

ごあいさつ — 地域を護る病院として —



院長 吉井 慎一

9月になっても秋の気配は全く感じられず、暑い日が続いていますが、皆様におかれましては体調いかがでしょうか。

かけはし発行時には、自民党総裁選で次期首相が決まって、内閣人事が話題の中心になっているでしょう。候補者の政策、討論会、記者の質問は、経済対策、安全保障の問題が主で、SNS、マスコミは小泉候補の総理大臣としての資質について大きく報じています。国家は「国民の生命と財産を守る」ためにあります。少子高齢化社会の中、医療・介護の問題について、全く議論されていないことは残念です。

医療・介護にはコストがかかり、社会保障費の予算が年々増加していて、効率性を考慮することは重要です。しかし、この効率性の問題は、特に介護に関しての国民的議論が必要と考えます。2040年頃に日本の高齢者（65歳以上）人口の割合の最大化と、生産年齢人口の減少が同時に起こると予想されています。それ以降、医療需要は確実に減少し、相対的に介護需要が大きくなります。地域包括ケアシステムでは、地域全体で医療から介護まで、多くの人が住み慣れた場所で暮らせるようにすることが目的です。介護において最も効

率的なのは、在宅での介護が困難な人、身寄りのない人、通常の老健施設には入所できない人を、国が管理するいくつかの施設に集めることです。訪問診療、訪問看護・介護は、自宅で生活したい高齢者や家族にとっては最良方法ですが、一方でコストはかかります。介護は効率性だけでなく、その人の生活の場が重要です。スウェーデンなどでは、コストはかかっても在宅中心に、最後まで本人の希望するサービスが受けられますが、当然、現役世代の税の負担が世界的にみても高くなっています。

今後、人件費増による経営困難だけでなく、人手不足から、病院、介護施設、訪問看護ステーションなどの閉鎖のリスクもあります。重要なことは、「人の健康と命を守りたい、納得のいく最後を迎えさせてあげたい」と思う人が、安心して医療・介護従事者になれるような政策を実行することです。

私見ですが、金がかかる効率の悪い政治、依然として縦割り行政の続いている省庁、一方で「医療・介護には効率性を求め、社会的必要性から、経営圧迫しても頑張してほしい」では持ちません。新しい内閣での国会では、社会保障費、特に医療・介護に関して、国として大きな視野で議論が進みことを強く望んでいます。

当院も経営状況は厳しいですが、「地域を護る病院」として、今後も職員一同頑張っていく所存です。引き続き、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

10月		11月		12月		1月																									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
					⑤							②		①	2	3	4	5	6	⑦				①	②	③	④				
10	⑥	7	8	9	10	11	12	11	③	4	5	6	7	8	⑨	12	⑧	9	10	11	12	13	14	1	⑤	6	7	8	9	10	⑪
月	⑬	⑭	15	16	17	18	⑲	月	⑩	11	12	13	14	15	⑯	月	⑮	16	17	18	19	20	⑰	月	⑫	⑬	14	15	16	17	⑱
	⑳	21	22	23	24	25	⑳		⑰	18	19	20	21	22	⑳		⑳	23	24	25	26	27	⑳		⑲	20	21	22	23	24	㉑
	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖			㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖			㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖			㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
	㉗	28	29	30	31				㉗	28	29	30	㉓			㉗	30	㉓						㉗	28	29	30	31			

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日



皮膚科

皮膚科は皮膚に生じた疾患全般を扱っております。

具体的には接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、虫刺症などの皮膚炎群、尋常性乾癬などの炎症性角化症、蕁麻疹、皮膚細菌・真菌感染症、ウイルス感染症、水疱性類天疱瘡などの水疱症、皮膚筋炎や強皮症などの膠原病、化膿性汗腺炎、円形脱毛症、皮膚良性・悪性腫瘍などを診療しております。検査としましては、ダーモスコピーなどの拡大鏡を用いた検査や、皮膚に麻酔をして皮膚を採取する皮膚病理検査、皮膚の真菌感染症や疥癬などは角質を採取して顕微鏡で検査することを行っています。

診療は常勤医1名の体制です。主に外来診療を行っておりますが、薬疹や皮膚真菌症、オムツ皮膚炎などの各科からの入院中の皮膚トラブルにも随時対応しております。

また、院内の褥瘡対策に取り組んでおり、看護局、WOC看護師、薬務局、栄養室とチーム医療を行なっています。ラウンド時は、病棟スタッフと連携を図りながら、患者さんの皮膚の状態を観察し褥瘡処置を実施します。具体的な処置方法の指導を行い、褥瘡部位への負担を軽減するための体位の取り方など具体的なケアを提案しています。

地域医療に密着した診療をめざし、患者さんの訴えを大切にしながら、皮膚症状の改善を目標としています。また、皮膚の疾患は慢性に罹患するものもあり、患者さんのライフスタイルに合った治療やアドバイスを行っています。地域の方々に貢献できるよう、またより良い医療を提供できるよう努力してまいります。



病棟での褥瘡回診の様子

栄 養 室

栄養室は、栄養室長・保坂医師のもと、病院管理栄養士4名、給食委託会社（エームサービス株式会社）スタッフ40名で構成されています。

病院管理栄養士は外来・入院患者さんの栄養管理・栄養指導などを行っており、委託スタッフは職員食堂の営業や保育園園児・入院患者さんの食事提供が主な業務です。

病院食は、食事療法に繋がる教育媒体でもあり、入院生活の楽しみのひとつでもあります。「食」を通して皆さんの心と身体の元気の一助になれるよう、栄養室一丸となり、安心安全なおいしい食事提供に努めています。



栄養室スタッフ

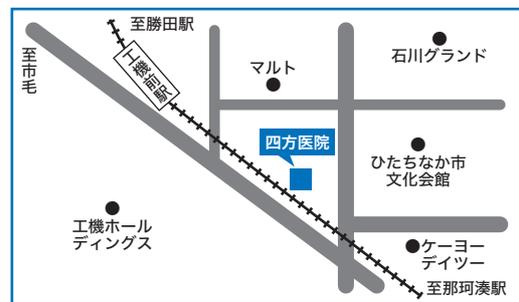
地域の先生紹介 四方医院

当院は先代である父が昭和47年に当地に開業して以来、地域に密着し地域に貢献する医療を心掛けております。現院長は、前任である国立病院機構 水戸医療センターでは内科・循環器科に所属し、循環器を中心とした診療に従事していました。それ以前は大学で心臓血管外科や一般外科の診療を行っていました。循環器専門医、外科専門医等の資格を有し、循環器科疾患を中心に、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や睡眠時無呼吸症候群、風邪などの一般内科、日常生活でのケガなどの一般外科、消化器疾患などの診療を行っています。

ひたちなか総合病院は子供の頃より身近にあり、困った時には頼りとなる、地域に無くてはならない病院でした。現在もそれは変わらず、救急車の出入りなども多い様で、大変忙しい事と存じます。当院としても検査や治療が必要な時などには、いつも大変お世話になり感謝しております。今後も当院として地域医療に専心し、ひたちなか総合病院との病診連携をこれからも進めてまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



四方 達郎先生



医療連携に関するお問い合わせは地域医療連携室へ

8:15~16:30 (月曜日~金曜日)

TEL 029-354-5202 (直通)

FAX 029-354-5220 (直通)

美肌治療器のご案内（フォトフェイシャル）

2024年6月に美肌治療器（光治療）を導入しました。治療が有効な状態なのかを含め、まずは診察しますので、興味のある方は外来Cブロックで形成外科外来の予約をお取りください。

【フォトフェイシャルとは】

IPL（Intense Pulsed Light）という肌にやさしい光をお顔全体に照射して、シミ、くすみ、赤ら顔、小じわ、毛穴の開きなどを改善する美肌治療です。しみや赤ら顔などの改善とともに、真皮層にも働きかけることでコラーゲンを増生し、肌のキメや質感を整えます。

【さまざまな肌トラブルに対応】



【治療期間】

1ヶ月に1回を複数回（2～5回）行う事が多いですが、お肌の状態・症状によって異なります。治療期間は概ね6ヶ月間となります。

【起こり得る副作用】

ごく稀ではありますが、施術後に起こり得る一般的な副作用は以下のとおりです。

- ✓ 色素の変化
- ✓ 紅斑
- ✓ 過度な腫れ
- ✓ 紫斑
- etc.
- ✓ 過敏な皮膚反応
- ✓ 熱傷
- ✓ 痒み・赤み

【料金表】

本治療は「自由診療」となりますので、全額自己負担となります。（料金／税込み）

項目	料金
初診料（カウンセリング含む）	3,850円
再診料	1,100円
ステラM22フォトフェイシャル （範囲：1回につき）	料 金
顔全体	22,000円
顔 2/3（眼から下）	14,300円
顔 1/3	7,040円
両手背	5,060円
両前腕	26,400円

経尿道的水蒸気治療のご案内

2024年4月に水蒸気を利用して前立腺肥大症を治療する医療機器を導入しました。本機器は、水蒸気を用いて肥大した前立腺の剥離・切除に使用する装置であり、従来の手法（電気メスでの切除）と比較し、手術時間が短く、出血リスクが少ない事が特徴です。

【手術をおすすめしたい方】

- ✓ 薬物療法であまり効果がでない患者さん
- ✓ 従来の手術療法が困難な高リスク患者さんやご高齢の患者さん

「治療の選択肢が広がります」 ※保険適用

【メリット】

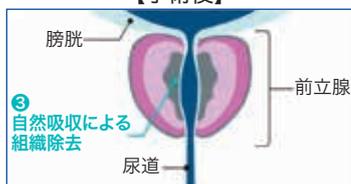
- 1 手術時間が短い（10～15分程度）
- 2 ほとんど出血がない
- 3 低侵襲な治療

【手術イメージ】

【手術前】



【手術後】



デバイスを挿入し103度の水蒸気を噴霧し、前立腺組織を約70度まで上昇させ組織を壊死させる

【起こり得る副作用】

手術後に起こり得る一般的な副作用は、以下のとおりです。

- ✓ 排尿障害
- ✓ 頻尿
- ✓ 尿意切迫
- etc.
- ✓ 血尿
- ✓ 血精液症（精液に血が混じること）

排尿障害が約17%、血尿が約11%、それ以外は10%以下と報告されています。

◆◆◆ 医師異動の紹介 ◆◆◆

診療科	氏名	異動日
総合内科	高野 竜馬	退職（2024. 9. 30）
	徳竹 雅之	採用（2024. 10. 1）
	李 礼真	採用（2024. 10. 1）
消化器内科	安東 敬仁	退職（2024. 9. 30）
	吉武 寛隆	退職（2024. 9. 30）
	高須 美香	採用（2024. 10. 1）
消化器外科	岡口 和也	退職（2024. 9. 30）
	小山田 幸平	採用（2024. 10. 1）
臨床研修医	多喜田 知史	退職（2024. 8. 31）
	金森 亮平	退職（2024. 9. 30）
	田村 憲伸	退職（2024. 9. 30）
	山口 航平	採用（2024. 9. 1）
	熊澤 翔太	採用（2024. 10. 1）
	杉原 汰樹	採用（2024. 10. 1）